



TAKAMATSU2019
地域の未来をみんなで創る

第1回かがわSDGsアワード 事業概要書



公益社団法人 高松青年会議所



事業の全体概要

- 主催 公益社団法人 高松青年会議所
- 後援 香川県、高松市、四国新聞社など
- 日時 2019年11月2日(土)
 - ・ 最終選考会並びに授賞式 14:00～16:30
 - ・ 情報交換会(P Rブース出展) 16:35～17:35
- 動員目標 一般参加者200名
- 入場料 無料
- 会場 高松国際ホテル 瀬戸の間

開催目的

<背景>

地方都市では少子高齢化や生産年齢人口の減少等を要因とした経済の縮小が危惧され、地域社会の持続可能性が危ぶまれています。社会の構造や価値観の変化してきた現在においては、企業が率先して地域社会がより良くなるよう社会の課題を解決していくことで、経済を発展させることができます。企業の社会貢献意識と国際貢献意識が向上し、明るく豊かな高松の社会となるよう、誰一人取り残さない社会の礎を築く必要があります。また、大企業をはじめとした多くの企業がSDGsに参画し始めており、優秀な人財を確保するためにも、企業の優れたSDGsの取り組みを発信し企業価値を高め、人財溢れる地域社会を築いていかなければなりません。

<目的>

- ・ 県内企業のSDGsの認知度を高める
- ・ 県内企業が事業活動を通じて社会の課題を解決しようという意識を高める。
- ・ 人財溢れ、明るい豊かな地域社会の未来を創造するための礎を築く。

エントリー資格

<以下の2つの要件を満たすこと>

- ・香川県内に本社が所在する企業であること。
- ・SDGsの17の目標どれかに該当する取り組みを行っており、その取り組みをプレゼンテーションできること。
(プレゼンテーションは最終選考会にて、パワーポイントを用いて、約8分間でSDGsの取り組みを発表していただきます)

審査方法

- 一次審査（10月2日に高松青年会議所事務局にて）
エントリーの書類をもとに、SDGsに携わっている審査員(SDGsの推進に取り組んでいる団体であるJICA、ユニセフ、四国EPO SDGs四国88、高松YEGの代表者もしくは職員の方)により、一次審査会を行い、最終選考会進出5社を選考する。
- 最終選考会（事業当日）
事業当日の一般参加者と高松青年会議所メンバーの投票と、高松青年会議所理事長を含む、後援団体や行政に携わる方などの有識者（1次選考の審査員に加え、香川県、高松市、後援団体、後援企業の方）による審査にて、最終審査を行う。

審査方法

○採点基準

提出頂いた書類をもとに、
右図の基準にて採点を行う。
一次審査の結果にて、
最終選考進出を5社に絞る。
最終選考では、審査員の得点と
事前Web投票と参加者の投票を
加算し各賞を選定する。

(1) 評価項目

選考項目	
① 普遍性	1. 国際社会においても幅広くロールモデルとなり得る取組であるか
	2. 国内における取組である場合、国際目標達成に向けた努力としての側面を有しているか
	3. 国際協力に関する取組である場合、我が国自身の繁栄を支えるものであるか
② 包摂性	1. 「誰一人取り残さない」の理念に則って取り組んでいるか
	2. 多様性という視点が活動に含まれているか
	3. ジェンダーの主流化の視点が含まれているか
③ 参画型	1. 脆弱な立場におかれた人々を対象として取り組んでいるか
	2. 自らが当事者となって主体的に参加しているか
	3. 様々なステークホルダーを巻き込んでいるか
④ 統合性	1. 経済・社会・環境の分野における関連課題との相互関連性・相乗効果を重視しているか
	2. 統合的解決の視点を持って取り組んでいるか
	3. 異なる優先課題を有機的に連動させているか
⑤ 透明性と説明責任	1. 自社の取組を定期的に評価しているか
	2. 自社の取組を公表しているか
	3. 公表された評価の結果を踏まえた自社の取組を修正しているか
⑥ 事前WEB投票	(得票数に応じて、得点を付していく)
⑦ 当日投票	(得票数に応じて、得点を付していく)

(2) 評価基準

評価	評価基準	評点
A	極めて顕著な功績があったと認められる	3点
B	特に顕著な功績があったと認められる	2点
C	顕著な功績があったと認められる	1点
D	顕著な功績は認められない	0点

事業内容

○最終選考会・授賞式

最終選考会へ進出した5社に自社でのSDGsの取り組みについて約8分間のプレゼンテーションをしていただきます。

それをもとに、当日参加された一般の方と高松JCメンバーの投票と審査員の審査にて、各賞を選定します。

○授賞式

賞の種類は、最優秀グランプリ	・・・	1社	
香川県知事賞	・・・	1社	
高松市長賞	・・・	1社	
その他の賞	・・・	2社	の予定です。

事業内容

○情報交換会

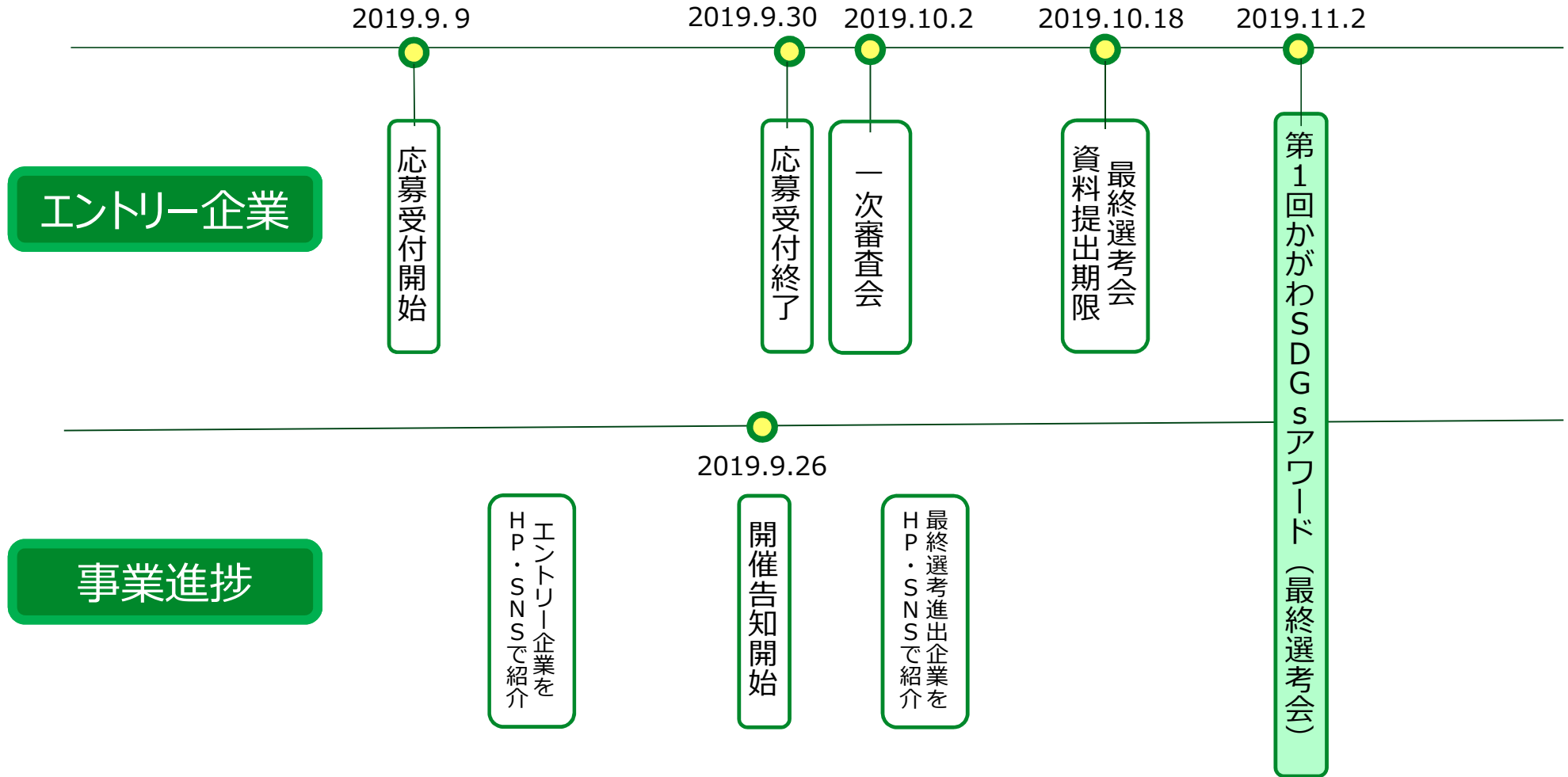
事業当日は会場の内外にて、県内でのSDGsの取り組みを紹介するパネルを展示し、参加者にたくさんの取り組み事例をご覧頂きます。事例紹介パネルの設置は、エントリーや後援・協賛の有無に関わらず無料にて受け付けており、パネルも当方で作成しますので、希望される方はぜひご連絡ください。

授賞式終了後の情報交換会では、エントリー頂いた中で希望される企業と優れた取り組みを行っている団体や大企業などにブース出展して頂き、参加者に詳しく取り組み内容をPRできる機会を設けます。審査員をはじめとしたSDGsの推進に積極的に取り組んでいる当日事業に参加した方や、SDGsに興味のある参加者と交流し情報交換を行える場となりますので、地域でSDGsに取り組んでいる方々同士が今後協力していくためのパートナーシップを築くきっかけにして頂きます。

SDGs アワードへの参加メリット

1. イメージ・知名度アップ
地域貢献や国際貢献に賛同している意思表示をすることで、企業の社会的価値が高まり、取引先の増加なども期待できる。
2. 社員のモチベーションアップ
自社の事業活動により、社会に貢献できることが明確になり、仕事に取り組むことへの目的意識向上に繋がる。
3. 優秀な人財の確保
最近では就職の際に、給料などの実益よりも企業の社会貢献度と言ったやりがいを重視する学生が増えており、有利な採用に繋がる。

●スケジュール





TAKAMATSU2019
地域の未来をみんなで創る

参加申し込み・問い合わせ

公益社団法人高松青年会議所 地域の未来創造委員会 理事委員長 諏訪 正則
〒760-0029 高松市丸亀町 2 番地 13 高松丸亀町貳番街 3 号館 4 階
TEL (087) 811-4677 (平日 10:00~12:00 13:00~18:00)
FAX (087) 811-4678
URL: <http://takamatsu-jc.com/> E-mail: takamatsu-jc@ca.pikara.ne.jp